取扱説明書（保証書付）

SK-8411

カイセ株式会社

このたびは、コードリーダーSK-8411をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

もくじ

安全上のご注意(必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	この絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。
	この絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。
	この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

ケーブルに足を引っかけて転倒しないように注意する
けがの原因となります。
ギアがパーキング（MT車の場合ニュートラル）になっていることを確認する
測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。
サイドブレーキが確実に引かれていることを確認する
測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。
小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する
事故やけが、感電の原因となります。
本製品を接続した状態で車を走行させない
事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。
本製品を接続した状態で、電池カバーを開けない
感電の原因となります。
ぬれた手で電池交換を行わない
感電の原因となります。
暗い場所で作業を行わない
事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。
ぬらしたりしない
火災や感電の原因となります。
故障のまま使用しない
画面が表示されない、スイッチが操作できないなどの故障の状態でご使用しないでください。すぐにご使用を中止してお買上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
USB端子を指で触れたり異物を入れない
事故や感電、火災、本製品の故障、破損の原因となります。
直射日光があたる場所や高温になる場所に置いたり、炎天下の車室内に放置しない
火災や感電、故障などの原因となります。
整備の際、手や手袋、衣服などが、エンジンのベルトなどの回転部分に巻き込まれないように注意する
けがの原因となります。
整備の際、排気部などのエンジンの高温部分に触れないように注意する
やけどの原因となります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

異常のまま使用しない

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするときは、すぐにご使用を中止してください。
また、お買上げの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

分解や改造はしない

火災や感電、故障などの原因となります。

ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない

火災や感電の原因となります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 注意

本体やケーブルが、エンジンのベルトなどの回転部分に巻き込まれないように注意する

ショートや断線により、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。

本体やケーブル類が、排気部等のエンジンの高温部分に触れないように注意する

事故、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。

本製品を長期間使用しない場合は車両から取り外す

車両バッテリの消耗および発火の原因となります。

本体画面表示部をたたいたり、強く押したり傷をつけたりしない

画面表示部の故障、破損の原因となります。

付属品以外のUSBケーブルは使用しない

本製品やPCの故障の原因となります。

指定以外の電池は使用しない

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となります。

電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる

間違えると電池の破裂、液もれによる、火災・けがや周囲を破損する原因となります。

電池を破棄する場合は、プラス⊕・マイナス⊖端子にテープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄する

他の金属片など導通性のあるものと一緒に破棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となります。

使用上のご注意

●端子部分にエンジンオイルを付着させないでください。接触不良の原因となります。

●エンジンオイル、ガソリン、不凍液およびバッテリ液を本体に付着させないでください。本体表面の変質の原因となります。

●アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。割れの原因となります。

●イグニッションキーONの状態でOBDⅡコネクターを抜かないでください。故障の原因となります。

●気温0℃～40℃、湿度80%以下の環境でご使用ください。正確な測定ができません。

●ケーブルの被覆が破れた場合は、ショートのおそれがありますので、ご使用を中止し新しい物に交換してください。

●長期間使用しない場合には、電池を取り外してください。消耗した電池を内蔵したまま放置すると、電解液がもれ出して内部を腐食することがあります。

●診断の際は、エンジンを始動しないでください。本体が正常に動作しません。

●△(上スクロール)キー、▽(下スクロール)キー、🗑(消去)キーを押しながら電源を入れると、右記の画面が表示され、すべてのキー操作ができなくなります。
この場合、電池カバーを外し(P25参照)電池を取り出すと電源がOFFになり、再度電池を取り付けると正常な状態に戻ります。

Power UP force
USB Mass Strage Mode
Infinity

取り扱いについて

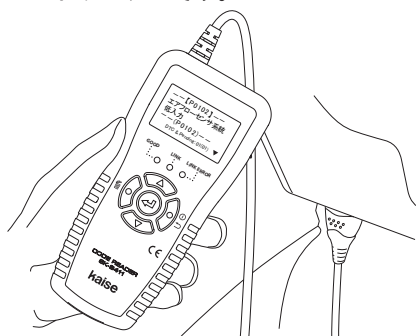
●衝撃を与えないでください。
本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。

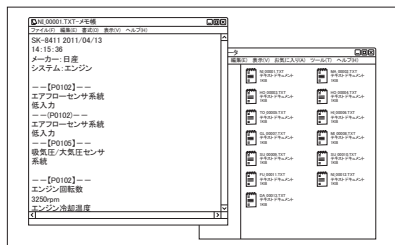
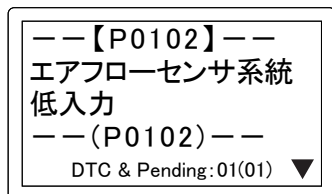
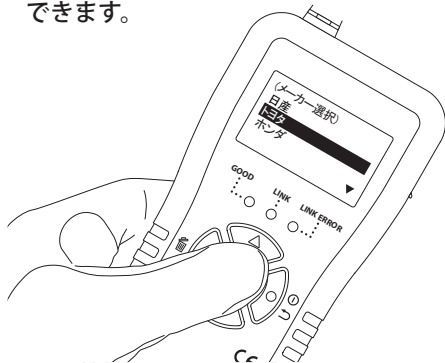
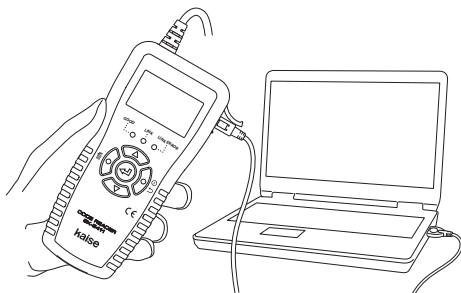
●ケーブルを無理に引っ張らないでください。
OBDⅡコネクターやUSBケーブルを外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の原因となります。外す際は、コネクターを持って外してください。

保管場所について

●下記の場所には保管しないでください。
・水のかかるところ
・強い衝撃が加わるところ
・気温-20℃以下60℃以上、湿度70%以上のところ
・結露のあるところ
・直射日光のあたるところ

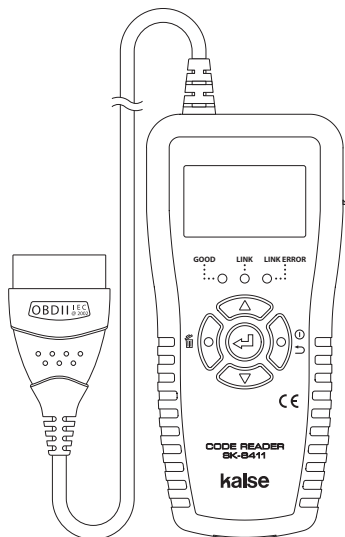
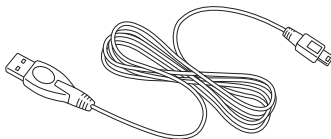
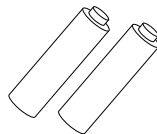
製品の特長

■本製品は車両から、DTC(故障コード)を読み取り、消去することができるコードリーダーです。

■フリーズフレームデータ対応で、DTC(故障コード)を記録したとき(故障が発生したとき)のエンジン各部のデータを表示することができます。

■診断時のDTC(故障コード)、フリーズフレームデータおよび診断日時を最大99件記憶することができます。さらに付属のUSBケーブルでPCと接続し、診断データをテキストデータとして利用できます。

■読み取ったDTC(故障コード)の内容を日本語で表示します。コード表を見て調べる必要がありません。

■ハンディーサイズなので片手で操作できます。

■付属のUSBケーブルでPCと接続し、ソフトウェア、データベースをインターネットを利用してダウンロードすることで、バージョンアップが行えます(※)。

※PCとインターネットの環境が必要です。

構成部品一覧表（ご使用前にご確認ください。）

本製品には、下記のものが同梱されています。ご使用の前にご確認ください。
万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

①コードリーダー本体…1台

②937USBケーブル…1本

③電池（1.5V R6P、単3マンガン）…2本

・電池交換の際は、市販の電池をお買い求めください。

④1024キャリングケース…1個

⑤取扱説明書（保証書付）…1冊

本体各部の名称と働き

● LEDランプ

①GOOD（緑）：
通信が終了し、DTC（故障コード）が無い時に点灯します。

②LINK（黄）：
通信中に点滅します。

③LINK ERROR（赤）：
通信に異常が起きた時に点灯します。

● OBDⅡコネクター

DLC（車両側コネクター）に差し込みます。

● 表示板（LCD）

● USB端子

PCと接続する際に、USBケーブルを差し込みます。

● △（上スクロール）キー

各設定時にメニューを上にスクロールします。

● ⏻（電源）／⮌（戻る）キー

①DLC（車両側コネクター）または、USBケーブルでPCと接続されていない時に、このキーを1秒以上押すと電源が入り、電源ON時1秒以上押すと電源が切れます。

②ひとつ前の画面に戻る時に使用します。

● ↵（決定）キー

メニュー選択時の決定、通信の開始、DTC（故障コード）/フリーズフレームデータの切り替えに使用します。

● ▽（下スクロール）キー

各設定時にメニューを下にスクロールします。

● 🗑（消去）キー

DTC（故障コード）を消去し、初期状態に戻す際に使用します。

オートパワーオフ機能

電池駆動時に最終操作終了後、約30分で自動的に表示が消えて電源OFF。

注：車両およびPC接続時には本機能は働きません。

注：オートパワーオフ時、および⏻(電源)キーで電源を切った後もわずかに電流を消費します。

解除：↵(決定)キーを押しながら⏻(電源)キーを1秒以上押して電源ON。

仕様

1. 一般仕様

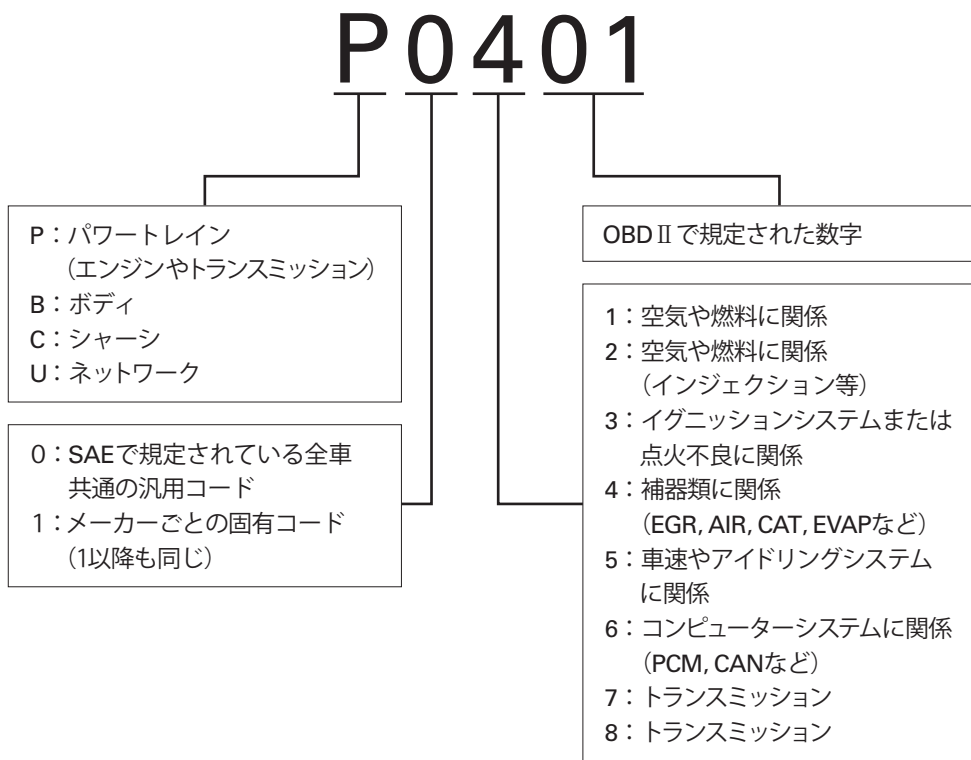
1.表示部	LCD（ドット表示：128×64ドット）　日本語表示対応
2.使用温度・湿度	0〜40℃、80%rh以下（ただし、結露のないこと）
3.保存温度・湿度	−20〜60℃、70%rh以下（ただし、結露のないこと）
4.動作電源電圧	DC10〜32V
5.電源	1.5V R6PまたはLR6（単3）電池 2本 （外部接続が何もないときのみ電池駆動）
6.消費電流	100mA以下（DC12V 作動時）、200mA以下（電池作動時）
7.LED表示	緑：DTC（故障コード）がなく、正常状態の時に点灯 黄色：車両との通信中に点滅 赤：通信エラーの際に点灯
8.外部電源供給	DLC（車両側コネクター）接続時、PC接続時
9.電池消耗表示	2.4V以下で ⌧ 表示
10.データ保存	DTC（故障コード）、フリーズフレームデータ、診断日時、診断した車両のメーカー名、診断したシステム名を最大99件記憶 ※USB接続でPCへデータの移動が可能
11.バージョンアップ	USBケーブルでPCと接続してバージョンアップ可能
12.ケーブル長	1.8m（OBDⅡコネクター含む）
13.プリンタ対応	USBケーブルでPCと接続して、PCから出力
14.フリーズフレームデータ	DTC（故障コード）表示中に、↵（決定）キーを押して表示
15.オートパワーオフ	最終操作後、約30分で自動的に電源オフ
16.安全基準	CEマーク認証
17.寸法	190mm（H）×88mm（W）×32mm（D）
18.質量	約410g（電池含まず）

※製品仕様および外観は予告なく変更することがあります。

2. 対応車両

●国際標準規格のDLC（車両側コネクター）（SAE J1962／ISO 15031-3）を装備した車両。
●通信プロトコル：ISO 9141-2、ISO 14230-4、ISO 15765-4（CAN）に対応。
※SAE J1850はバージョンアップでの対応となります。
※対応車両であっても、サポートされていない車両の場合は、通信できないことがあります。
※車両の状態（搭載ECUの故障発生、OBDⅡコネクターとDLC（車両側コネクター）の接触不良、通信線の異常発生）により通信エラーが発生することがあります。

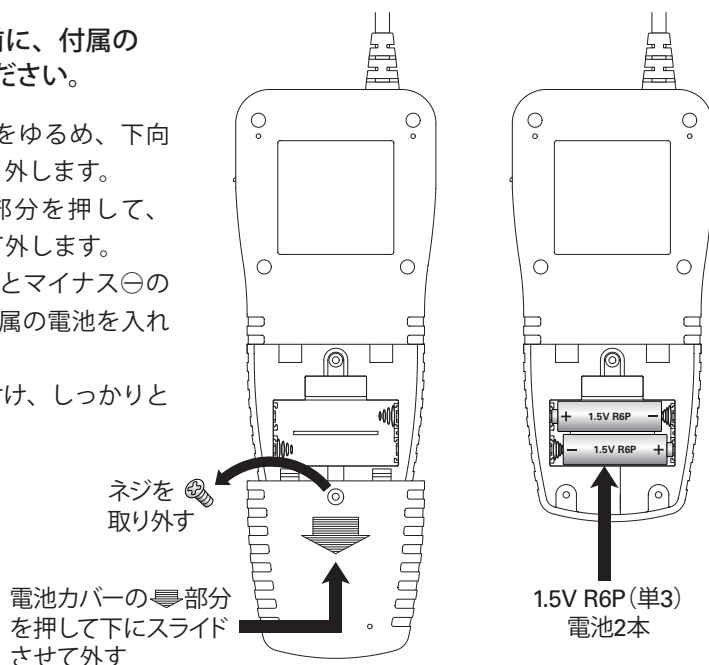
1. DTC（故障コード）の構成

DTC（故障コード）はSAE J2012で規定されており、頭のアルファベット＋4桁の数字で表されます。
例）P0401：排気ガス再循環流量不足検出

2. 電池の取り付け

⚠ 警告	●電池の取り付け・交換は、本製品を車両・PCから外した状態で行ってください。感電事故の原因となります。 ●ぬれた手で電池交換を行わないでください。感電事故の原因となります。 ●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 注意	●指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となります。 ●電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれによる、火災、けがや周囲を破損する原因となります。 ●電池を破棄する場合は、プラス⊕・マイナス⊖端子にテープを貼るなど絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。他の金属片など導通性のあるものと一緒に破棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となります。

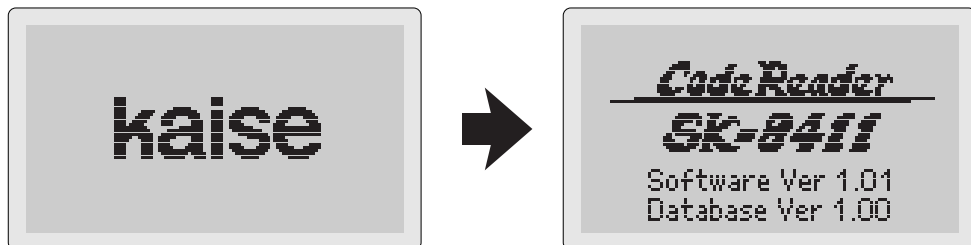
本製品をご使用の前に、付属の電池を取り付けてください。

①電池カバーのネジをゆるめ、下向きにしてネジを取り外します。
②電池カバーの⇩部分を押して、下にスライドさせて外します。
③極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意して付属の電池を入れます。
④電池カバーを取り付け、しっかりとネジを締めます。

3. 日付／時刻設定

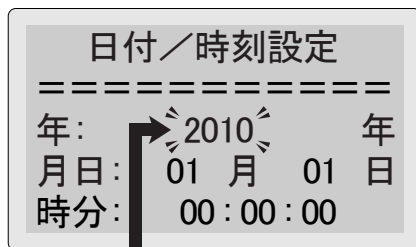
ご使用の前に、日時の設定を行ってください。

①本体の⏻（電源）キーを1秒以上押して電源を入れてください。次の画面が表示され、②の日付／時刻設定画面になります。
※初回電源ON時のみ②の日付／時刻設定画面に切り替わります。
※2回目以降の電源ON時はメニュー画面に切り替わります。（詳しくはP23を参照）

kaise

Code Reader
SK-8411
Software Ver 1.01
Database Ver 1.00

※この表示を省略したい場合は、↵（決定）キーを押してください。

②初回電源ON時のみ右記の日付／時刻設定画面が表示されますので、日時の設定を行ってください。↵（決定）キーを押すと年の表示が点滅します。

⮌（戻る）キーを押すとP13⑤のメニュー画面へ移動します。

※電池交換を行うと日時の設定がリセットされてしまいます。電池交換後の初回電源ON時は右記の画面に切り替わりますので、日時の再設定を行ってください。
（短時間の電池交換であれば、設定がリセットされない場合があります。）

年の表示が点滅

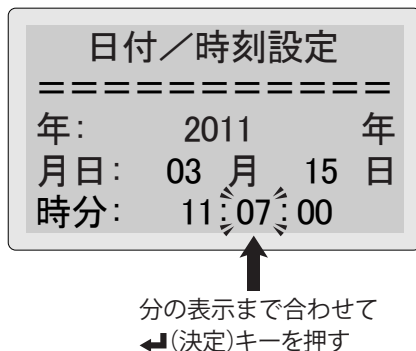
③△▽(上・下スクロール)キーで年を合わせて、↵(決定)キーを押すと点滅箇所が月の表示へ移動します。月を合わせて↵(決定)キーを押すと点滅箇所が日の表示へ移動します。

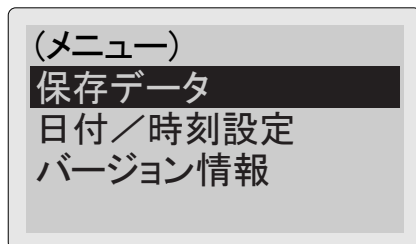
日付／時刻設定
==============
年:　2011　年
月日:　03　月　01　日
時分:　00:00:00

↵(決定)キーを押すと点滅箇所が移動

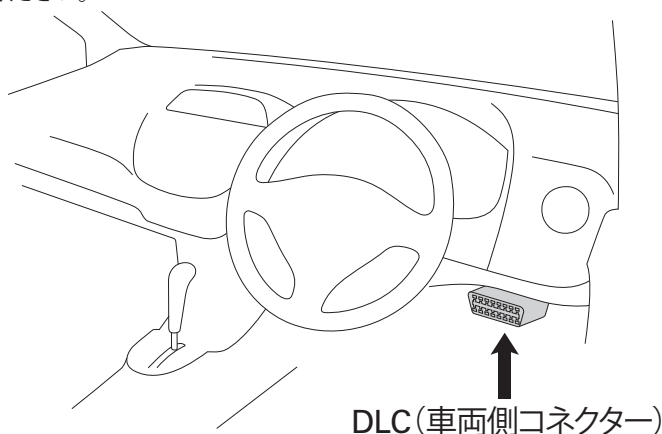
④同じ要領で分の表示まで合わせて↵(決定)キーを押すと秒が0になり、日付／時刻設定が完了し、⑤のメニュー画面へ移動します。

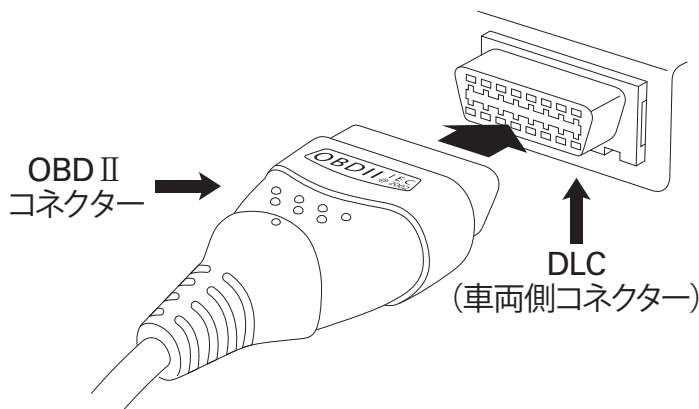
日付／時刻設定
==============
年:　2011　年
月日:　03　月　15　日
時分:　11:07:00

分の表示まで合わせて↵(決定)キーを押す

⑤右記のメニュー画面(P23参照)が表示されますので、⏻(電源)キーを1秒以上押して電源をOFFにしてください。

(メニュー)
保存データ
日付／時刻設定
バージョン情報

使用方法

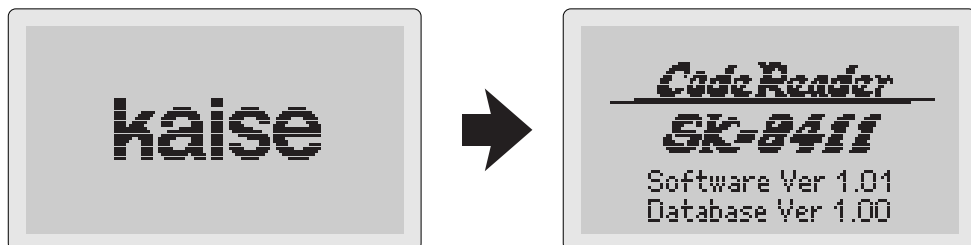
1. DTC（故障コード）の読み取り

①DLC（車両側コネクター）の位置を確認してください。通常DLC（車両側コネクター）は運転席から手の届く範囲内にあります（コネクターの形状は台形です）。ほとんどの車種は運転席側ダッシュボード下部にあります。不明の場合は、車両のサービスマニュアルなどを確認してください。

②車両のイグニッションキーがOFFになっていることを確認してください。

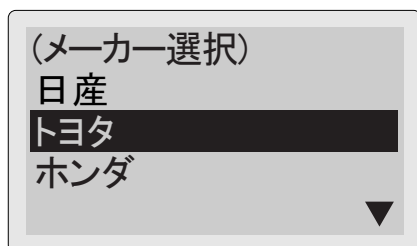
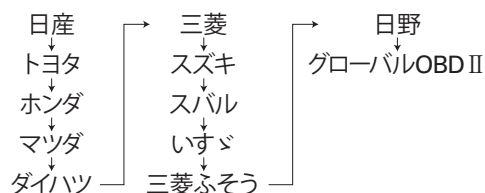
③DLC（車両側コネクター）にOBDⅡコネクターを差し込みます。コネクター部分の台形の形状が合うようにして、奥までしっかりと差し込んでください。

●必ずイグニッションキーがOFFになっている状態で接続してください。イグニッションキーがONになっている状態で接続すると本体が故障する原因となります。

使用方法

④OBDⅡコネクターを差し込むと、本体の電源が自動でONになります。次の画面が表示され⑤のメーカー選択になりますので、**車両のイグニッションキーをONにしてください。**
※エンジンを始動しないでください。本体が正常に動作しません。

Code Reader
SK-8411
Software Ver 1.01
Database Ver 1.00

※この表示を省略したい場合は、↵(決定)キーを押してください。
※日付／時刻設定が行われていない場合、P12の設定画面に切り替わります。

⚠ 注意	●イグニッションキーONの状態でOBDⅡコネクターを抜かないでください。故障の原因となります。 ●イグニッションキーONの状態で車両を長時間放置しないでください。バッテリー上がりの原因となります。

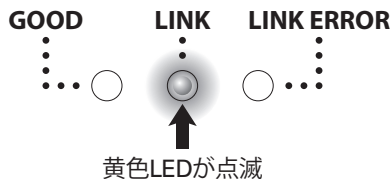
⑤本体と接続している車両のメーカーを選択します。△▽(上・下スクロール)キーでメーカー名を選び、↵(決定)キーを押してください。
※外国車の場合は“グローバルOBDⅡ”を選択してください。

メーカー名は下記の順で表示されます。

⑥診断したいシステムを選択します。△▽(上・下スクロール)キーでシステム名を選び、↵(決定)キーを押してください。
※グローバルOBDⅡの場合、システム選択はエンジンのみになります。

⮌(戻る)キーを押すと⑤のメーカー選択画面へ戻ります。

⑦右記の画面が表示されますので、イグニッションキーがONになっているのを確認し、↵(決定)キーを押してください。

⊃(戻る)キーを押すとP15⑥のシステム選択画面へ戻ります。

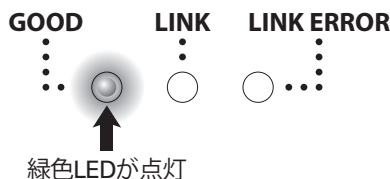
⑧通信が開始し、右記の画面が表示されます。
通信中は黄色LED(LINK)が点滅します。
※右記の画面は、車両メーカーが日産、通信方式がK-LINEの場合です。

黄色LEDが点滅

DTC(故障コード)がない場合

通信が終了し、選択したシステムにDTC(故障コード)がない場合は右記の画面が表示され、緑色LED(GOOD)が点灯します。

↵(決定)キーを押すとP15⑥のシステム選択画面へ戻ります。

診断を終了する場合は、イグニッションキーをOFFにしてからOBDⅡコネクターを外してください。

緑色LEDが点灯

使用方法

DTC(故障コード)がある場合

読み取ったDTC(故障コード)と内容を表示します。表示が次画面におよぶ場合は、画面右下に▼が表示されます。▽(下スクロール)キーを押して次画面を確認してください。
ペンディングコードも読み取り、表示します。

・DTC(故障コード)：【 】表示
・ペンディングコード：( )表示

↩(戻る)キーを押すとP15 ⑥のシステム選択画面へ戻ります。

不明なDTC(故障コード)を読み取った場合、右記のように表示します。
※画面の表示は最大192行です。193行以降は表示できません。

DTC(故障コード)の数
ペンディングコードの数

不明なDTC(故障コード)を読み取った場合

ーー【P0001】ーー
整備マニュアルを参照してください。
DTC & Pending:01(00) ▼

ペンディングコードとは?	エンジン始動から停止までの周期＝1トリップで、故障を探知すると仮故障として一時的に記録される故障コード(仮コード)。

●フリーズフレームデータがある場合

DTC(故障コード)表示画面時、↵(決定)キーを押すと“通信中…”の表示後、右記のようにフリーズフレームデータが表示されます。表示が次画面におよぶ場合は、画面右下に▼が表示されます。▽(下スクロール)キーを押して次画面を確認してください。

↩(戻る)キーを押すとDTC(故障コード)表示画面へ戻ります。↵(決定)キーを押すとP18の診断データの保存へ進みます。

※表示に時間がかかる場合は“処理中”と表示します。

●フリーズフレームデータがない場合

DTC(故障コード)表示画面時、↵(決定)キーを押すと“通信中…”の表示後、右記の画面が表示されます。

↩(戻る)キーを押すとDTC(故障コード)表示画面へ戻ります。↵(決定)キーを押すとP18の診断データの保存へ進みます。

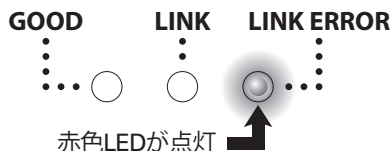
フリーズフレームデータはありません。

使用方法

通信異常の場合

通信を中断し右記の画面が表示され、赤色LED（LINK ERROR）が点灯します。

↵（決定）キーを押すとP16 ⑦の画面へ戻ります。

※対応車両であっても、サポートされていない車両の場合は、通信できないことがあります。また、車両の状態（搭載ECUの故障発生、OBDⅡコネクターとDLC（車両側コネクター）の接触不良、通信線の異常発生）により通信エラーが発生することがあります。

2. 診断データの保存

下記の診断データを最大99件記憶することができます。

- ・診断日時
- ・診断した車両のメーカー名
- ・診断したシステム名
- ・DTC（故障コード）
- ・フリーズフレームデータ

※本体の日時が正しく設定されていない場合、診断日時が正しく保存されません。P24 “日付／時刻の再設定”を参照し、日時を正しく設定してください。
※保存データが99件を超えた場合、最も古いデータから自動的に削除されます。

①フリーズフレームデータ表示画面で、↵（決定）キーを押すと、右記の画面が表示されます。
はいを選択：②の保存終了画面へ進む
いいえを選択：保存せずにフリーズフレームデータ表示画面へ戻る

DTCおよび
フリーズフレームデータ
を保存しますか？
はい
いいえ

②はいを選択すると右記の画面が表示され、データの保存が終了します。

↵（決定）キーを押すとフリーズフレームデータ表示画面へ戻ります。

DTCおよび
フリーズフレームデータ
を保存しました。
↵キーを押してください。

保存データが99件を超えていた場合

①保存データが99件を超えていた場合、右記の画面が表示されます。
はいを選択：最も古いデータを上書し、②の保存終了画面へ進む
いいえを選択：保存せずにフリーズフレームデータ表示画面へ戻る

データの保存量が
99をこえています。
上書きしますか？
はい
いいえ

②はいを選択すると右記の画面が表示され、データの保存が終了します。

↵(決定)キーを押すとフリーズフレームデータ表示画面へ戻ります。

DTCおよび
フリーズフレームデータ
を保存しました。
↵キーを押してください。

3. DTC(故障コード)の消去

DTC(故障コード)がある場合、車両に記憶されているDTC(故障コード)およびフリーズフレームデータの消去を行うことができます。故障個所の修理完了後、DTC(故障コード)の消去を行ってください。

①P17のDTC(故障コード)表示画面またはフリーズフレームデータ表示画面で(消去)キーを押すと、右記の画面が表示されます。
はいを選択：②の消去完了画面へ進む
いいえを選択：DTC(故障コード)表示画面またはフリーズフレームデータ表示画面へ戻る

(消去しますか？)
はい
いいえ

⮌(戻る)キーを押すと前画面へ戻ります。

⚠注意 ●DTC(故障コード)を消去する前に車両の故障個所の修理を行ってください。本製品でDTC(故障コード)を消去するだけでは、車両の不具合および故障は直りません。

②右記の画面が表示され消去が完了します。
↵(決定)キーを押すと自動で再通信を行い、消去の確認を行います。

消去完了しました。
↵キーを押してください。

③再通信が実行され、DTC(故障コード)が消去されていれば右記の画面が表示され、緑色LED(GOOD)が点灯します。

↵(決定)キーを押すとP15⑥のシステム選択画面へ戻ります。

※DTC(故障コード)が再表示されてしまう場合は、故障個所の再点検を行ってください。

DTCなし。
↵キーを押してください。

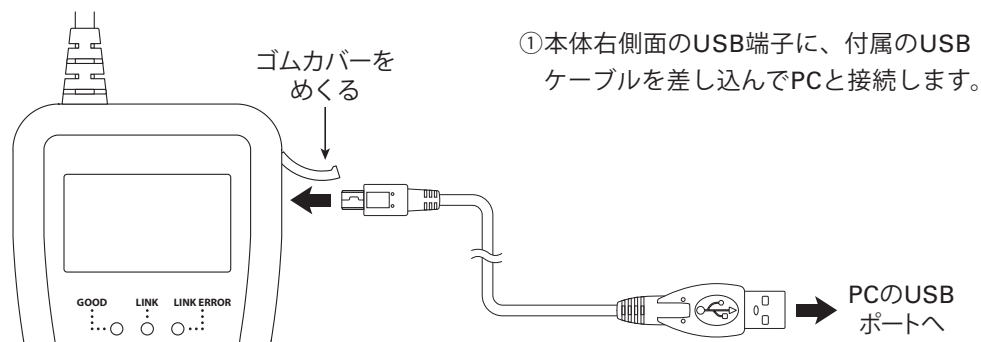
④診断を終了する場合は、イグニッションキーをOFFにしてからOBDⅡコネクターを外してください。

※ECUからの指令でDTC(故障コード)が消去できない場合は、右記の画面が表示されます。この場合、本製品では消去できませんので、サービスマニュアルなどで確認してください。

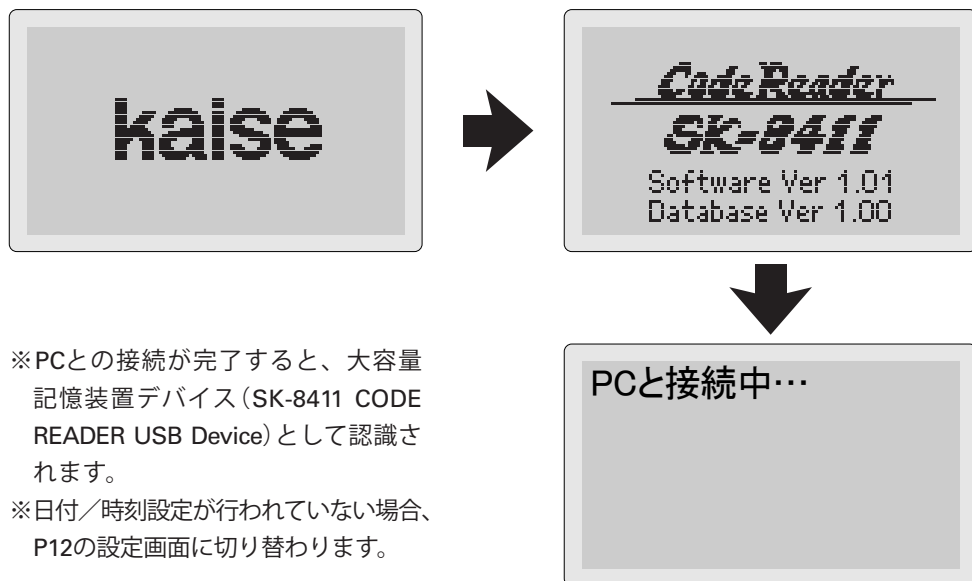
↵(決定)キーを押すとP17のDTC(故障コード)表示画面へ戻ります。

消去できませんでした。
↵キーを押してください。

4. PCとの接続

付属のUSBケーブルでPCと接続し、診断データをテキストデータとして利用できます。

②電源がON状態のPCと接続すると本体の電源が自動でONになり、画面に次の表示がされます。

※PCとの接続が完了すると、大容量記憶装置デバイス（SK-8411 CODE READER USB Device）として認識されます。

※日付／時刻設定が行われていない場合、P12の設定画面に切り替わります。

⚠ 注意

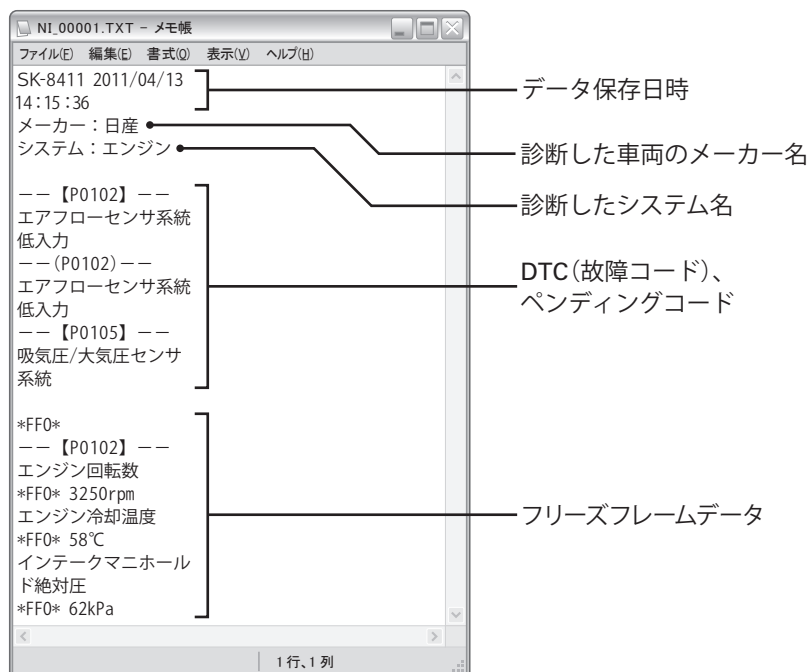
●USBケーブルを抜く際は、PC側からUSBの取り出しを指示してから抜いてください。故障の原因となる場合があります。

③PC側からの操作で本体のメモリーにアクセスします。保存データの形式はテキストファイル、ファイル名は下記のようになります。

■ファイル名の例

NI ：日産　　DA：ダイハツ　　IS ：いすゞ
TO ：トヨタ　　MI ：三菱　　FS：三菱ふそう
HO ：ホンダ　　SU：スズキ　　HI ：日野
MA：マツダ　　FU ：スバル　　GL：グローバルOBDⅡ

④データをPCに保存します。データはテキストファイルですのでPCから印刷できます。

■保存データの例

⑤USBケーブルを抜く際は、PC側からの操作でUSBの取り外しを指示してから抜いてください。

メニュー画面

本製品が車両やPCと接続されていない状態で、①(電源)キーを1秒以上押すと電池駆動で電源が入り、起動画面表示後に右記のメニュー画面が表示されます。

※初回電源ON時は、P12の日付／時刻設定画面が表示されます。

※電池駆動時は電池の消耗を抑えるために、バックライトおよびLEDは点灯しません。

※電池が消耗している場合、P25の電池切れ画面が表示されますので、電池を交換してください。

電池駆動で電源ON時に①(電源)キーを1秒以上押すと電源がOFFになります。

メニュー画面

(メニュー)
保存データ
日付／時刻設定
バージョン情報

1. 保存データの確認

P18 "診断データの保存" で保存したDTC(故障コード)およびフリーズフレームデータを確認できます。

①メニュー画面で△▽(上・下スクロール)キーを押して "保存データ" を選択し、↵(決定)キーを押してください。右記のようにデータ選択画面が表示されます。

※保存データがない場合、"保存データはありません" と表示されます。

> ⮌(戻る)キーを押すとメニュー画面へ戻ります。

(データ選択)
NI_00001
MA_00002
HO_00003
▼

②確認したいデータを選択して↵(決定)キーを押すと、右記のように保存したDTC(故障コード)、フリーズフレームデータが表示されます。

> ⮌(戻る)キーを押すと①のデータ選択画面へ戻ります。

(NI_00001.TXT)
SK-8411　2011/04/13
14:15:36
メーカー:日産
システム:エンジン

2. 日付／時刻の再設定

P12 “日付／時刻設定” で設定した日時を変更できます。

①メニュー画面で△▽(上・下スクロール)キーを押して “日付／時刻設定” を選択し、↵(決定)キーを押してください。右記のように日付／時刻設定画面が表示され、↵(決定)キーを押すと年の表示が点滅します。

⮌(戻る)キーを押すとP23のメニュー画面へ移動します。

日付／時刻設定
==============
年:　2011　年
月日:　08　月　31　日
時分:　15:47:22

②△▽(上・下スクロール)キーで年の表示を合わせて、↵(決定)キーを押すと点滅箇所が月の表示へ移動します。分の表示まで合わせて↵(決定)キーを押すと秒が0になり、日付／時刻の再設定が完了し、メニュー画面へ戻ります。

日付／時刻設定
==============
年:　2012　年
月日:　02　月　10　日
時分:　13:25:00

3. バージョン情報

現在の日時、電池の残量、ソフトウェアおよびデータベースのバージョン、シリアルナンバーを表示します。

①メニュー画面で△▽(上・下スクロール)キーを押して “バージョン情報” を選択し、↵(決定)キーを押してください。下記のように現在の日時、電池の残量、ソフトウェアおよびデータベースのバージョンが表示されます。

現在の日時を表示します → 2011/08/15　10:22

電池の残量を表示します → 電池残量:

- 2.7V以上
- 2.7V未満～2.5V以上
- 2.5V未満

ソフトウェアのバージョンを表示します → ソフトウェア Ver 1.00

データベースのバージョンを表示します → データベースVer 1.00

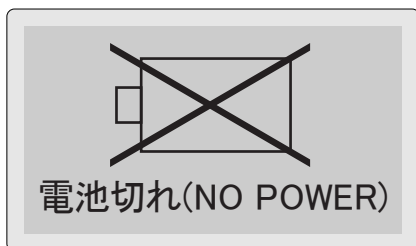
本製品のシリアルナンバーを表示します → シリアル No. 84110001

⮌(戻る)キーを押すとメニュー画面へ戻ります。

保守管理

電池の交換

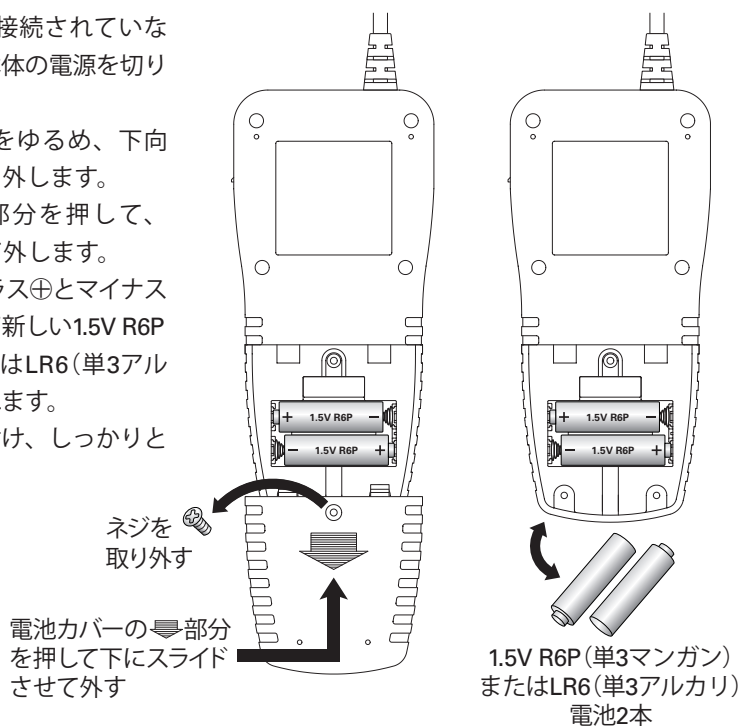
電池駆動で電源ON時、電池が消耗している場合は下記画面が表示されますので、次の手順で電池を交換してください。

※下記画面表示時は、すべてのキー操作が行えません。30秒後に自動で電源がOFFになります。

①本体が車両、PCと接続されていないことを確認し、本体の電源を切ります。

②電池カバーのネジをゆるめ、下向きにしてネジを取り外します。

③電池カバーの⇩部分を押して、下にスライドさせて外します。

④電池の極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意して新しい1.5V R6P(単3マンガン)またはLR6(単3アルカリ)電池2本を入れます。

⑤電池カバーを取り付け、しっかりとネジを締めます。

故障かな？という場合に

故障かな？という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。
本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または
カイセ株式会社にお問い合わせください。

症　状		原因と処置
電源が入らない		●電池が消耗している。 → 電池を交換してください。 ●電池の極性が違っている。 → 電池極性を確認してください。 ●⏻(電源)キーが1秒以上押されていない。 → ⏻(電源)キーを1秒以上押し続けてください。 ●OBDⅡコネクターまたはUSBケーブルが奥までしっかりと差し込まれていない。 → 奥までしっかりと差し込んでください。
電池駆動時に電源が切れない		●⏻(電源)キーが1秒以上押されていない。 → ⏻(電源)キーを1秒以上押し続けてください。
DTC(故障コード)の消去ができない		●故障個所の不具合が解決されていない。 → 故障個所の再点検を行ってください。
電池駆動時にバックライト、LEDが点灯しない		●電池の消耗を抑えるために、電池駆動時はバックライトおよびLEDは点灯しません。 → 故障ではありません。

品 質 保 証 規 定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合には、無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

記

1．取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2．カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理または改造に起因する故障。
3．お買い上げ後の輸送または落下等によって生じた故障。
4．火災、水害、地震等天災地変によって生じた故障・破損。
5．消耗部品（電池等）の補充または取り換え。
6．品質保証書の提出がない場合。
7．その他、当社の責任とみなされない故障。
8．本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼	年　　月　　日
故障の症状 故障の原因（わかったら）	

キリトリ

品　質　保　証　書

MODEL SK-8411	Serial No.
品質保証期間　　購入日　　年　　月　　日から1カ年	
販売代理店および所在地 印	

※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じました場合は、裏面記載の品質保証規定により無償で修理いたします。製品にこの品質保証書を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社営業部サービス係へご送付ください。

※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。

カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422　電話 0268-35-1600（代表）

✂キリトリ

バージョンアップ情報

カイセ株式会社のホームページで、コードリーダー（型式：SK-8411）のバージョンアップ情報をお知らせいたします。下記のURLにアクセスし、バージョンアップ情報のページへ進んでください。

コードリーダー（型式：SK-8411）製品ページURL http://www.kaise.com/Car8411J.htm

（1）バージョンアップ
ソフトウェア、データベースのバージョンアップファイルをダウンロードすることができます。
バージョンアップの手順を良くご確認のうえ、バージョンアップを実行してください。

（2）製品情報
上記URLにて製品情報の閲覧や製品カタログ（pdf）、取扱説明書（pdf）、汎用コード表（pdf）のダウンロード/印刷が可能です。

その他、製品に関する最新情報をホームページ上にてご案内いたします。
詳細につきましては、ホームページにてご確認ください。